



国際化サイバーセキュリティ学 特別コース／シラバス

資料

科目名	1 PF				2 CD				3 IN				4 DF				5 MG				6 DD			
	基盤技術								インシデントレスポンス、人的、社会問題								情報システムと制度デザイン							
	サイバーセキュリティ基盤				サイバーディフェンス実践演習				セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法				デジタル・フォレンジック				情報セキュリティマネジメントとガバナンス				セキュアシステム設計・開発			
項目\ 担当者	岩井				八横				安田				佐々木				安田				安田			
科目概要	サイバーセキュリティを深く理解する前提として、アクセス制御・運用セキュリティ技術・暗号技術・OS仮想化技術・クラウド管理・ユビキタスセキュリティ・ハードウェアに関する脆弱性などの共通基盤技術に関して、知識と演習を通じて深い理解を得る必要がある。本講義では、セキュリティ基盤技術を網羅的かつ系統的に学習すると共に最新事例を演習を通じて実体験し、セキュアな情報システム構築の知識と基礎力を養う。				ローカルエリアネットワーク(LAN)、ワイドエリアネットワーク(WAN)、およびアクセスネットワークについての、セキュリティ技術について深く学ぶ。これら、ネットワークシステムへの攻撃手法やその脅威、およびそれらの対策について議論する。 また、それらの知識をもとに、セキュアなネットワークシステムを、デザインする手法を身につける。セキュリティ技術・攻撃対策・ネットワークデザインのそれぞれについて演習を実施し、セキュアな情報システムの設計・運用能力を養う。				セキュリティインシデントは、近年多岐にわたる知識により、その予防と発生後の対策が必要になって来ている。 本講義は、インシデントの犯罪心理学・行動学・最新の手法・ログと統計データの解析の概論を学ぶ。また関連する倫理規定や法を学び、インシデントレスポンスの手法を、グループワークにより実践的に、学習していく。				捜査や裁判(刑事・民事)に必要な情報(たとえばサーバへの侵入経路やメール発信者の真偽など)を、情報処理技術を用いて明らかにする技術や学問であるデジタルフォレンジックは、CIO補佐、あるいはCISO補佐にとって今後非常に重要な技術になっているが十分な講義が行われていない。 捜査や裁判(刑事・民事)に必要な情報を、情報処理技術を用いて何が行われたかを明らかにする。技術や学問であるデジタルフォレンジックの考え方や基本技術を習得するとともに、インシデント発生時に適切に対応できるようにする。				情報セキュリティの計画、設計・導入、運用・保守、見直しのPDCAサイクルを実施する方法論として、国際標準にもなっている情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)がある。本科目では、企業の事業継続における情報セキュリティマネジメントとガバナンスについて、ISMSを中心としたケーススタディ(演習)で学ぶ。本科目の目標は、企業における情報セキュリティを統括する、CISOに必要な基本的な知識と能力を修得することにある。				脆弱なシステムに対する攻撃によって、社会的に大きな影響と被害が発生している。そのため、セキュアなシステム設計・開発、脆弱性検査とその対策は、重要性が増している。本科目は、セキュアシステム設計・開発論について、演習を通して体得することを目指す。前半では、プログラム工程での脆弱性を作り込みで体験し、対策を学ぶ。その後、セキュリティのターゲットとなるものや、開発の前工程で脆弱性を作りこまないようにする、プロジェクトマネジメント手法を学ぶ。後半では、プロジェクト開始前の要求事項として何を要求すれば後工程で脆弱性が発生しないかを学び、コンプライアンスを一例として一般としての手法を学ぶ。 最後に演習を行い、工程ごとのセキュリティ対策のディスカッションを行う。			
修得できる能力	サイバーセキュリティ確保に関して必要となる各種技術の理解／ユビキタス技術に関する知識／サイバー攻撃そのものへの攻撃内容を理解し、対策を的確に選択・実施できる能力／セキュアな運用を可能とする幅広い基盤知識				通信ネットワークのセキュリティ確保に関して必要となる各種技術の理解／通信ネットワークを用いた、あるいは通信ネットワークそのものへの攻撃内容を理解し、対策を的確に選択・実施できる能力／セキュアな運用を可能とするネットワークシステムをデザインする能力				企業における情報セキュリティを統括するCISO(Chief Information Security Officer/最高情報セキュリティ責任者)として必要な基礎知識と能力／インシデントへの基本的な対応能力(上級セキュリティエンジニア)				デジタル・フォレンジックの考え方や基本技術を習得し、個人情報漏えいや不正侵入などのインシデント発生時に、応急対応をとれるようにするとともに、裁判に備えログを適切に収集、分析できるようにし、必要な資料を法的に問題ないよう準備できるようにする。				企業における情報セキュリティを統括するCISO(Chief Information Security Officer/最高情報セキュリティ責任者)として必要な基礎知識と能力／ISMSの継続維持を可能とする社員教育の基本的能力／コンプライアンスならびに監査に関する基本的能力				セキュアシステム設計論の修得／コンプライアンスに基づく保証と評価の実践について演習を通して体得する／Webアプリケーションの脆弱性検査手法とその基本的な対策の能力			
1	4月10日 (金)	暗号学／セキュリティアーキテクチャと設計／アクセス制御／通信とネットワークのセキュリティ／物理セキュリティ／運用セキュリティ／ユビキタス			4月18日 (土)	通信とネットワークのセキュリティ／アクセス制御／運用セキュリティ			4月9日 (木)	法、規則、コンプラ、捜査			9月18日 (金)	法、規則、コンプラ、捜査			9月15日 (火)	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント			9月26日 (土)	セキュリティアーキテクチャと設計／運用セキュリティ／ソフト開発		
		岩井 将行／東京電機大学				奥村 恭弘／NTTコミュニケーションズ株式会社				安田 浩／東京電機大学				伊藤 潤／三井物産セキュアディレクション株式会社				安田 浩／東京電機大学 柿崎 淑郎／東京電機大学						
2	4月17日 (金)	セキュリティ入門基盤とCISPPイントロダクション			4月18日 (土)	総論：サイバーディフェンス実践 脅威の歴史から最新の脅威を踏まえながら			4月16日 (木)	セキュリティインテリジェンス 概論			9月25日 (金)	デジタルフォレンジック入門			9月29日 (火)	CISPP講座 情報セキュリティマネジメントとガバナンス			9月26日 (土)	総論：セキュアシステム設計・		
		テクニカル	講義 演習	テクニカル		講義 演習	マネジメント	講義 演習		テクニカル	講義 演習	マネジメント		講義 演習	テクニカル	講義 演習								
3	4月24日 (金)	暗号学			4月18日 (土)	運用セキュリティ			4月23日 (木)	法、規則、コンプラ、捜査／運用セキュリティ			10月2日 (金)	セキュリティアーキテクチャと設計／運用／ソフト開発			10月6日 (火)	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント／セキュリティアーキテクチャと設計			9月26日 (土)	ソフトウェア開発セキュリティ／セキュリティアーキテクチャと設計		
		齊藤 泰一／東京電機大学				林 郁也／NTTコミュニケーションズ株式会社				杉浦 芳樹／NTTデータ先端技術株式会社				上原 哲太郎／立命館大学				伊藤 潤／三井物産セキュアディレクション株式会社				富樫 晃／神奈川県立東部総合職業技術校		
4	5月1日 (金)	CISPP講座 暗号技術の基礎			4月23日 (木)	インシデント情報の連携と報告書作成			4月30日 (木)	コミュニケーション力、コーチング、チームビルディング			10月9日 (金)	ハードディスクの構造、ファイルシステム			10月13日 (火)	企業戦略と社会的責任(CSR)			10月17日 (土)	セキュアプログラミング ネイティブアプリケーション①		
		テクニカル	講義 演習	テクニカル		講義 演習	マネジメント	講義 演習		テクニカル	講義 演習	マネジメント		講義 演習	テクニカル	講義 演習								
5	5月15日 (金)	暗号学			4月18日 (土)	通信とネットワークのセキュリティ／アクセス制御／運用セキュリティ			4月23日 (木)	法、規則、コンプラ、捜査／運用セキュリティ			10月2日 (金)	セキュリティアーキテクチャと設計／運用／ソフト開発			10月6日 (火)	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント／セキュリティアーキテクチャと設計			9月26日 (土)	ソフトウェア開発セキュリティ／セキュリティアーキテクチャと設計		
		齊藤 泰一／東京電機大学				六宮 智悟／トレンドマイクロ株式会社				角尾 幸保／日本電気株式会社				上原 哲太郎／立命館大学				伊藤 潤／三井物産セキュアディレクション株式会社				富樫 晃／神奈川県立東部総合職業技術校		
6	5月22日 (金)	CISPP講座 暗号技術の基礎			4月23日 (木)	マルウェアの歴史／解析環境			4月30日 (木)	ソーシャルエンジニアリング 技法			10月9日 (金)	フォレンジックのためのOS、Windows概論			10月13日 (火)	内部統制 及び IT統制			10月17日 (土)	セキュアプログラミング ネイティブアプリケーション②		
		テクニカル	講義 演習	テクニカル		講義 演習	マネジメント	講義 演習		テクニカル	講義 演習	マネジメント		講義 演習	テクニカル	講義 演習								
7	5月29日 (金)	暗号学			4月18日 (土)	通信とネットワークのセキュリティ／アクセス制御／運用セキュリティ			4月30日 (木)	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント			10月2日 (金)	法、規則、コンプライアンス、捜査／運用／ソフト開発			10月6日 (火)	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント／セキュリティアーキテクチャと設計			9月26日 (土)	ソフトウェア開発セキュリティ／セキュリティアーキテクチャと設計		
		大鐘 博子／株式会社NSD				松本 晋祐／株式会社ベリサーチ				松浦 幹太／東京大学				野崎 周作／株式会社UBIC				原田 要之助／情報セキュリティ大学院大学				久保 正樹、戸田 洋三／一般社団法人JPCERT		
8	5月15日 (金)	CISPP講座 暗号技術の応用			4月23日 (木)	脆弱性検出技法(ファジング、リバーシエンジニアリング)			4月30日 (木)	セキュリティ経済学			10月9日 (金)	フォレンジック作業の基礎			10月13日 (火)	国際標準にみる情報セキュリティ			10月17日 (土)	セキュアプログラミング Webアプリケーション①		
		テクニカル	講義 演習	テクニカル		講義 演習	マネジメント	講義 演習		テクニカル	講義 演習	マネジメント		講義 演習	テクニカル	講義 演習								
9	5月22日 (金)	セキュリティアーキテクチャと設計			4月18日 (土)	通信とネットワークのセキュリティ／アクセス制御／運用セキュリティ			4月23日 (木)	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント			10月2日 (金)	法、規則、コンプラ、捜査／運用／ソフト開発			10月6日 (火)	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント／セキュリティアーキテクチャと設計			9月26日 (土)	ソフトウェア開発セキュリティ／セキュリティアーキテクチャと設計		
		佳山 こうせつ／富士通株式会社				木村 仁美／トレンドマイクロ株式会社				長谷川 長一／株式会社ラック				野崎 周作／株式会社UBIC				金児 茂／三井物産セキュアディレクション株式会社				久保 正樹、戸田 洋三／一般社団法人JPCERT		
10	5月29日 (金)	CISPP講座 セキュリティアーキテクチャ			4月23日 (木)	マルウェア解析演習① マルウェアの発見(検出手)			4月30日 (木)	CISPP講座 法・捜査・コンプライアンス			10月9日 (金)	フォレンジック作業 データ保全			10月13日 (火)	リスクマネジメントとリスク分析			10月17日 (土)	セキュアプログラミング Webアプリケーション②		
		テクニカル	講義 演習	テクニカル		講義 演習	マネジメント	講義 演習		テクニカル	講義 演習	マネジメント		講義 演習	テクニカル	講義 演習								
11	5月22日 (金)	アクセス制御			4月18日 (土)	通信とネットワークのセキュリティ／運用セキュリティ／アクセス制御			4月23日 (木)	法、規則、コンプラ、捜査			10月23日 (金)	法、規則、コンプラ、捜査／運用／ソフト開発			10月27日 (火)	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント			10月17日 (土)	ソフトウェア開発セキュリティ／セキュリティアーキテクチャと設計		
		河野 省二／株式会社ディアアイティ				木村 仁美／トレンドマイクロ株式会社				大河内 智秀／東京電機大学				白濱 直哉／有限責任監査法人トーマツ				金児 茂／三井物産セキュアディレクション株式会社				寺田 真敏／株式会社日立製作所		
12	5月29日 (金)	CISPP講座 アクセス制御			4月23日 (木)	マルウェア解析演習② 動的解析とヒューリスティック検知			4月30日 (木)	セキュリティ倫理			10月9日 (金)	フォレンジック作業 データ復元			10月13日 (火)	リスクマネジメントとリスク分析 演習(ケーススタディ)			10月17日 (土)	セキュアインフラ構築(ネットワーク)		
		テクニカル	講義 演習	テクニカル		講義 演習	マネジメント	講義 演習		テクニカル	講義 演習	マネジメント		講義 演習	テクニカル	講義 演習								
13	5月15日 (金)	アクセス制御			4月18日 (土)	通信とネットワークのセキュリティ／運用セキュリティ			4月23日 (木)	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント			10月30日 (金)	法、規則、コンプラ、捜査			11月10日 (火)	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント／セキュリティアーキテクチャと設計			11月7日 (土)	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント／通信とネットワークのセキュリティ／ソフト開発		
		河野 省二／株式会社ディアアイティ				木村 仁美／トレンドマイクロ株式会社				大河内 智秀／東京電機大学				桜庭 信之／西村あさひ法律事務所				北原 幸彦／NRIセキュアテクノロジーズ株式会社				井上 吉隆／NTTスマートコネク株式会社		
14	5月22日 (金)	CISPP講座 ソフトウェアデベロップメント			4月23日 (木)	マルウェア解析演習③-1 静的解析(アセンブリ)			4月30日 (木)	CSIRT(CSIRTの目的、意義、組織連携)			10月30日 (金)	法リテラシーと法廷対応			11月10日 (火)	情報セキュリティマネジメントの国際標準(ISO27000)とISMS			11月7日 (土)	セキュアインフラ構築(サーバ)		
		テクニカル	講義 演習	テクニカル		講義 演習	マネジメント	講義 演習		テクニカル	講義 演習	マネジメント		講義 演習	テクニカル	講義 演習								

科目名	1 PF				2 CD				3 IN				4 DF				5 MG				6 DD			
	サイバーセキュリティ基盤				サイバーディフェンス実践演習				セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法				デジタル・フォレンジック				情報セキュリティマネジメントとガバナンス				セキュアシステム設計・開発			
8	6月5日 (金) 18:10～	暗号学／セキュリティアーキテクチャと設計／アクセス制御／通信とネットワークのセキュリティ			5月30日 (土) 10:40～	通信とネットワークのセキュリティ／運用セキュリティ／アクセス制御			5月28日 (木) 18:10～	法、規則、コンプラ、捜査			11月6日 (金) 18:10～	法、規則、コンプラ、捜査／運用／ソフト開発			11月17日 (火) 18:10～	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント／セキュリティアーキテクチャと設計			11月7日 (土) 10:40～	ソフトウェア開発セキュリティ／セキュリティアーキテクチャと設計		
		金野 千里／独立行政法人 情報処理推進機構	制御システム、組み込み機器のセキュリティ	テクニカル 講義 演習		木村 仁美／トレンドマイクロ株式会社	マルウェア解析演習③-2 静的解析	テクニカル 講義 演習		サイバー犯罪と心理学	マネジメント 講義 演習	白濱 直哉／有限責任監査法人トーマツ		フォレンジック作業 データ解析①	テクニカル 講義 演習	北原 幸彦／NRIセキュアテクノロジーズ株式会社		ISMS演習	マネジメント 講義 演習	セキュリティ脅威分析		テクニカル 講義 演習		
9	6月12日 (金) 18:10～	通信とネットワークのセキュリティ			5月30日 (土) 13:10～	通信とネットワークのセキュリティ／アクセス制御／運用セキュリティ			6月4日 (木) 18:10～	運用セキュリティ／法、規則、コンプラ、捜査			11月13日 (金) 18:10～	法、規則、コンプラ、捜査／運用／ソフト開発			11月24日 (火) 18:10～	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント／セキュリティアーキテクチャと設計			11月7日 (土) 13:10～	ソフトウェア開発セキュリティ／情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント／通信とネットワーク		
		武智 洋／日本電気株式会社	CISSP講座 ネットワークセキュリティ	テクニカル 講義 演習		草場 英仁／三井物産セキュアディレクション株式会社	エクスプロイトライティング	テクニカル 講義 演習		企業の情報資産防衛と法制度・政策の交錯 ― 米国の例を参考に	マネジメント 講義 演習	野崎 周作／株式会社UBIC		フォレンジック作業 データ解析②	テクニカル 講義 演習	鳥山 雄大／三井物産セキュアディレクション株式会社		情報セキュリティポリシー	マネジメント 講義 演習	セキュリティ脅威分析 演習		テクニカル 講義 演習		
10	6月19日 (金) 18:10～	物理(環境)セキュリティ			6月20日 (土) 9:00～	通信とネットワークのセキュリティ／アクセス制御／運用セキュリティ			6月11日 (木) 18:10～	法、規則、コンプラ、捜査／運用セキュリティ			11月20日 (金) 18:10～	法、規則、コンプラ、捜査／運用／ソフト開発			12月1日 (火) 18:10～	アクセス制御／セキュリティアーキテクチャと設計			11月28日 (土) 9:00～	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント／通信とネットワークのセキュリティ／ソフト開発		
		小熊 慶一郎／株式会社 KBIZ	CISSP講座 物理セキュリティ	テクニカル 講義 演習		草場 英仁／三井物産セキュアディレクション株式会社	エクスプロイトライティング	テクニカル 講義 演習		高取 芳宏／オリック東京法律事務所	データプロテクションと国際訴訟	マネジメント 講義 演習		白濱 直哉／有限責任監査法人トーマツ	フォレンジック作業 演習	テクニカル 講義 演習		大木 栄二郎／工学院大学	情報セキュリティ監査	マネジメント 講義 演習		プロジェクト・マネジメント 演習	テクニカル 講義 演習	
11	6月26日 (金) 18:10～	運用セキュリティ			6月20日 (土) 10:40～	通信とネットワークのセキュリティ／アクセス制御／運用セキュリティ			6月18日 (木) 18:10～	法、規則、コンプラ、捜査／通信とネットワークのセキュリティ			11月27日 (金) 18:10～	通信とネットワークのセキュリティ／ソフト開発			12月8日 (火) 18:10～	アクセス制御／セキュリティアーキテクチャと設計			11月28日 (土) 10:40～	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント／セキュリティアーキテクチャと設計		
		小林 浩史／日本電気株式会社	CISSP講座 運用セキュリティ	テクニカル 講義 演習		国分 裕、小西 明紀／三井物産セキュアディレクション株式会社	脆弱検出方法(Webアプリケーション、スマートフォン)	テクニカル 講義 演習		サイバーセキュリティと通信の秘密	マネジメント 講義 演習	八横 博史／東京電機大学		ネットワークフォレンジック(攻撃法、マルウェア、ログの取り方)、Webの構造2	テクニカル 講義 演習	大木 栄二郎／工学院大学		情報セキュリティ監査 演習	マネジメント 講義 演習	セキュリティ要求仕様と分析手法		テクニカル 講義 演習		
12	7月3日 (金) 18:10～	通信とネットワークのセキュリティ			6月20日 (土) 13:10～	通信とネットワークのセキュリティ／アクセス制御／運用セキュリティ			6月25日 (木) 18:10～	運用セキュリティ			12月4日 (金) 18:10～	通信とネットワークのセキュリティ／ソフト開発			12月15日 (火) 18:10～	運用セキュリティ			11月28日 (土) 13:10～	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント		
		岩井 将行／東京電機大学	ユビキタス技術とセキュリティ	テクニカル 講義 演習		国分 裕、小西 明紀／三井物産セキュアディレクション株式会社	脆弱検出技法(Webアプリケーション、スマートフォン) 演習	テクニカル 講義 演習		伊藤 潤／三井物産セキュアディレクション株式会社	セキュリティコンサルティング 概論とその技法(事例を踏まえたケーススタディ) 演習	マネジメント 講義 演習		八横 博史／東京電機大学	上記の演習	テクニカル 講義 演習		林 郁也／NTTコミュニケーションズ株式会社	インシデントレスポンス演習①	マネジメント 講義 演習		セキュリティ要求仕様と分析手法 演習	テクニカル 講義 演習	
13	7月10日 (金) 18:10～	セキュリティアーキテクチャと設計			7月11日 (土) 9:00～	運用セキュリティ			7月2日 (木) 18:10～	運用セキュリティ			12月11日 (金) 18:10～	法、規則、コンプラ、捜査／ソフト開発			12月22日 (火) 18:10～	運用セキュリティ			12月19日 (土) 9:00～	セキュリティアーキテクチャと設計		
		河野 健二／慶應義塾大学	Unix/LinuxOSのセキュリティアーキテクチャ(SELinux含む)	テクニカル 講義 演習		中西 克彦／NECネクサソリューションズ株式会社	サイバーセキュリティ実践演習 (CTF)	テクニカル 講義 演習		満永 拓邦／一般社団法人JPCERT／CC	インシデントハンドリング ワークショップ①	マネジメント 講義 演習		白濱 直哉／有限責任監査法人トーマツ	代表的な対象におけるDFの方法①	テクニカル 講義 演習		林 郁也／NTTコミュニケーションズ株式会社	インシデントレスポンス演習②	マネジメント 講義 演習		開発手法 コモンクライトリア (ISO/IEC15408)	テクニカル 講義 演習	
14	7月17日 (金) 18:10～	セキュリティアーキテクチャと設計			7月11日 (土) 10:40～	運用セキュリティ			7月9日 (木) 18:10～	運用セキュリティ／法、規則、コンプラ、捜査			12月18日 (金) 18:10～	法、規則、コンプラ、捜査／ソフト開発			1月12日 (火) 18:10～	事業継続と災害復旧の計画			12月19日 (土) 10:40～	セキュリティアーキテクチャと設計		
		松下 綾子／アルプスシステムインテグレーション株式会社	モバイルOSとセキュリティ	テクニカル 講義 演習		中西 克彦／NECネクサソリューションズ株式会社	サイバーセキュリティ実践演習 (CTF)	テクニカル 講義 演習		満永 拓邦／一般社団法人JPCERT／CC	インシデントハンドリング ワークショップ②	マネジメント 講義 演習		野崎 周作／株式会社UBIC	代表的な対象におけるDFの方法②	テクニカル 講義 演習		小林 浩史／日本電気株式会社	CISSP講座 事業継続と災害復旧の計画	マネジメント 講義 演習		開発手法 コモンクライトリアの評価方法論および演習(ケーススタディ)	テクニカル 講義 演習	
15	7月24日 (金) 18:10～	暗号学／セキュリティアーキテクチャと設計／ア			7月11日 (土) 13:10～	運用セキュリティ			7月16日 (木) 18:10～	運用セキュリティ／法、規則、コンプラ、捜査			1月8日 (金) 18:10～	法、規則、コンプラ、捜査／通信とネットワーク			1月19日 (火) 18:10～	情報セキュリティガバナンスとリスクマネジメント			12月19日 (土) 13:10～	ソフトウェア開発セキュリティ／情報セキュリティ		
		岩井 将行／東京電機大学	セキュリティ基盤総合	テクニカル 講義 演習		正木 健介／NRIセキュアテクノロジーズ株式会社	攻撃の検知、解析 (IDS/IPS/ 関連分析・SIEM)	テクニカル 講義 演習		安田 浩／東京電機大学	サイバーインテリジェンスvs セキュリティインテリジェンス 総括発表会	マネジメント 講義 演習		佐々木 良一／東京電機大学	デジタルフォレンジックの今後の展開／テスト	テクニカル 講義 演習		佐々木 良一／東京電機大学	テストとまとめ	マネジメント 講義 演習		セキュアプログラミング 総合	テクニカル 講義 演習	
16	7月31日 (金)	最終論述試験			7月25日 (土)	総合演習試験			7月23日 (木)	最終論述試験												総合演習		
履修資格 (前提)	ネットワーク、OS、セキュリティ関連技術に関する学部卒業レベルの知識を有すること				分散処理、コンピュータネットワーク、TCP/IPおよびセキュリティ関連技術に関する学部卒業レベルの知識を有すること UNIX系OSの操作に習熟していること プログラミング経験を有すること アセンブリ知識を有していること(x86)				1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。 5MG 情報セキュリティマネジメントとガバナンスの先修または同時履修を推奨する。 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする				1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする				1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。 3IN セキュリティインテリジェンスと心理、倫理、法の先修または同時履修を推奨する。 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする				1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする			
成績評価方法・基準	・試験 50% ・講義中に実施する演習の成果とその報告 50%																							

2015 年度(平成 27 年度)

文部科学省
「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」
選定

東京電機大学
「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」
募集要項

<履修証明制度対応>

2015 年度(平成 27 年度)

文部科学省「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」選定

東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」募集要項

＜履修証明制度対応＞

東京電機大学では、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」として、6 科目(120 時間)を開講します。このコースは、履修証明制度に対応しています。

1. 教育目的

悪意ソフト攻撃は増加の一途であり、サイバーセキュリティ(以下CSと略す)のより一層の充実、社会を安心・安全・豊かにするための喫緊の課題です。そのためには、社会活動に参加するすべての人々のCS意識を高める必要があります。

本プログラムは、社会構成員全員のCS意識の高揚を先導する、高度CS専門家を養成することを目的としています。

2. 教育課程

本プログラムでは、企業における情報セキュリティを統括する最高情報セキュリティ責任者(Chief Information Security Officer: CISO)や、セキュアな情報システムの開発において主導的役割を果たす上級セキュリティエンジニアを、育成すべき高度人材像としています。そのような人材を育成するため、企業等で活躍されている専門家を招聘し、事例紹介と事例に基づくワークショップ形式の演習と、座学ワークショップを合わせて実施します。

具体的には、法律・倫理など制度的枠組みに関する理解や、攻撃者の意図や行動に関する洞察、企業におけるコンプライアンスを実現するためのガバナンスなど、幅広くかつ高度な能力を育成するために、以下の6科目(演:演習中心3講座、講:講義・ワークショップ中心3講座)を開講します。

開講する科目は、大学院修士課程レベルの内容です。

① サイバーセキュリティ基盤	(1PF)	(講)
② サイバーディフェンス実践演習	(2CD)	(演)
③ セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	(3IN)	(講)
④ デジタル・フォレンジック	(4DF)	(演)
⑤ 情報セキュリティマネジメントとガバナンス	(5MG)	(講)
⑥ セキュアシステム設計・開発	(6DD)	(演)

※ 科目名に記載した英数字は科目記号です。

3. 履修証明書

学校教育法に基づく履修証明制度により、プログラム修了者には、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース 履修証明書」を授与します。

【本プログラムにおける履修証明書交付要件】

開講される 6 科目(120 時間)を修得すること

【履修証明制度概要】

平成 19 年度の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。

これは、学生を対象とした学位プログラムの他に、社会人等を対象とした 120 時間以上の学習プログラム(履修証明プログラム)を提供し、修得した者に履修証明書を発行する制度です。履修証明制度には、以下の 3 点の特徴があります。

- (1) 大学の学位に比べ、より短期間に修得することが可能
- (2) 再就職やキャリアアップに役立つ社会人向けの教育プログラム
- (3) プログラム修了者には、学校教育法に基づき履修証明書を交付

※履修証明制度に関する文部科学省 Web ページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/

4. 募集人員

国際化サイバーセキュリティ学特別コース 2015 年度 定員 20 名

5. 講座実施場所

東京電機大学 東京千住キャンパス

6. 開講期間・開講日時等

前期: 2015 年 4 月 6 日(月)～2015 年 7 月 29 日(水)

後期: 2015 年 9 月 14 日(月)～2016 年 1 月 27 日(水)

時間割は以下の通り。

科目名	配当期	曜日	時限
サイバーセキュリティ基盤 (1PF)	前期	金	6
サイバーディフェンス実践演習(2CD)	前期	土	1,2,3
セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法(3IN)	前期	木	6
デジタル・フォレンジック(4DF)	後期	金	6
情報セキュリティマネジメントとガバナンス(5MG)	後期	火	6
セキュアシステム設計・開発 (6DD)	後期	土	1,2,3

※ 各科目のシラバスについては Web ページを参照

<https://cysec.dendai.ac.jp/lecture/>

受講にはノートPCが必要となります。推奨するスペック等については、Web ページでお知らせする予定です。

7. 受講資格

本プログラムは、CISO、上級セキュリティエンジニア等を目指す、基本的な情報セキュリティの知識を有する者を対象に開講します。

次の各号の一つに該当する者(大学院修士課程入学レベル)

- ① 大学を卒業した者、及び本プログラム受講時までに卒業見込みの者
- ② 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者、及び本プログラム受講時までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、および本プログラム受講時までに修了見込みの者
- ④ 大学の 3 年次に在学し、当該大学(学部)で定める早期卒業基準を満たす者
- ⑤ 大学の 3 年次に在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本大学院未来科学研究科委員会が、優れた成績で所定の単位を修得したものと認めた者
- ⑥ その他本大学院未来科学研究科委員会が、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

開講される各科目を履修する際の前提条件は次の通りです。

(1PF) サイバーセキュリティ基盤

- ネットワーク、OS、セキュリティ関連技術に関する学部卒業レベルの知識を有すること。

(2CD) サイバーディフェンス実践演習

- 分散処理、コンピュータネットワーク、TCP/IP およびセキュリティ関連技術に関する学部卒業レベルの知識を有すること。
- UNIX 系 OS の操作に習熟していること。
- プログラミング経験を有すること。
- アセンブリ知識を有していること(x86)

(3IN) セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 5MG 情報セキュリティマネジメントとガバナンスの先修または同時履修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

(4DF) デジタル・フォレンジック

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

(5MG) 情報セキュリティマネジメントとガバナンス

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 3IN セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法の先修または同時履修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

(6DD) セキュアシステム設計・開発

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 基本的なプログラミング能力、基礎的なHTML/DBの知識を前提とする
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

8. 出願手続き書類

以下の書類を、巻末に記載の送付先に郵送してください。

- ① 東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」願書

写真 1 枚(脱帽上半身、背景なし、最近 3 ヶ月以内撮影、願書の所定欄に貼付

してください。)

- ② 最終出身学校の卒業証明書もしくは卒業見込証明書
- ③ 最終出身学校の成績証明書

「受講資格審査料」は、出願手続き期間内に、以下のとおり指定口座に振り込んでください。

振込先

銀行名:	三菱東京UFJ銀行(0005)
支店名:	神田支店(331)
種別:	普通
口座番号:	1186980
名義:	学校法人 東京電機大学 受講料口 理事長 加藤 康太郎
振込金額	10,000 円 (受講資格審査料)

※振込人名義の頭に 3000 と入れてください。

※振込手数料は振り込みされる方のご負担となります。

9. 出願手続き及び期間

【受付期間】 2015 年 2 月 13 日(金)～2015 年 3 月 4 日(水) 必着

【注意事項】

- 出願者は、出願書類一式(「8. 手続き書類」項目の①～⑤の書類)を、角形第 2 号封筒(240×332mm)に入れ、簡易書留・速達で郵送してください。郵送の際は、封筒の表面に出願書類在中と朱記してください。また封筒の裏面に、出願者の住所、氏名を記載して下さい。
- 郵送された願書等は返送いたしません。

10. 受講資格審査

面接による受講資格審査を行います。

【受講資格審査日時】 : 2015 年 3 月 7 日(土) 14 時 00 分～

【受講資格審査場所】 : 東京千住キャンパス

〒120-8551

東京都足立区千住旭町 5 番

北千住駅東口(電大口)から徒歩 1 分

〔 JR 常磐線・東京メトロ(日比谷線・千代田線)・
東武伊勢崎線・つくばエクスプレス 〕

※ 場所等詳細については 3 月 6 日(金)までにご連絡いたします。

11. 必要となる費用(受講資格審査料・受講費・教材費・施設利用費)

●出願時に必要な費用

【受講資格審査料】 10,000 円

●受講手続き時に必要な費用

【受講費】 16,000 円/科目 (6 科目で 96,000 円)
(本来は 32,000 円/科目 平成 27 年度は半額)

※ 子育て世代女性の受講支援のため、一定の要件を満たした場合、上記とは別の受講費を設定しています。詳しくは巻末に記載のお問い合わせフォームにてご連絡ください。

【施設利用費】 10,000 円(半期)
(ID カード作成費、PC 等設備利用費、図書館利用費等)

【電子教材費】 実費
(\$175~\$220 \$1 を 120 円で計算すると 21,000 円~26,400 円)

※ 電子教材費は、受講人数と為替レートにより変動しますので、後日改めてご連絡します。

※ この電子教材費以外に教科書等の購入費がかかる場合があります。

12. 受講資格審査結果通知

下記の日程で発送いたします。

2015 年 3 月 10 日(火)発送予定

3 月 12 日(木)までに可否通知が届かない場合は、以下の Web ページの問い合わせフォームでお問い合わせください。

Web ページ:<https://cysec.dendai.ac.jp/contact/>

お問い合わせ内容の 1 行目に「CS 可否通知不着」と記載してください。2 行目以降に、氏名・電話番号・受験番号を記入してください。

13. 受講手続き等

合格者へは、合格通知とともに次の書類を送付いたします。所定の期間内に、受講費等の振込を含めた手続きを行ってください。詳細については、受講資格審査結果通知時に、改めてお知らせいたします。

- ① 「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」履修申請書
- ② 健康診断書(指定項目(身長、体重、胸部 X 線所見、問診)の入ったもの)
- ③ 受講費等の振込用紙

●受講手続き時に振り込む費用

【受講費】 16,000 円/科目
履修科目数に応じた受講費は次の通り。

1 科目	16,000 円	2 科目	32,000 円
3 科目	48,000 円	4 科目	64,000 円
5 科目	80,000 円	6 科目	96,000 円



【施設利用費】 10,000 円 (半期)

(ID カード作成費、PC 等設備利用費、図書館利用費等)

【電子教材費】 実費

(\$175~\$220 \$1 を 120 円で計算すると 21,000 円~26,400 円)

手続締切日 2015 年 4 月 8 日 (水) 必着

※一度振り込まれた受講費等はいかなる理由があっても返金致しかねます。振込手数料は振り込みされる方のご負担となります。

【手続き書類の送付先】

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

東京電機大学 1 号館 14 階 応用情報工学研究室内

国際化サイバーセキュリティ学特別コース事務局 行

【お問い合わせ先】

お問い合わせは Web のフォームからお願いします。

お問合せフォーム <https://cysec.dendai.ac.jp/contact/>

2015年度（平成27年度）東京電機大学
「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」願書

受験番号

		記入日	2015 年 月 日	
ふりがな			性別	男 女
氏 名				
氏名ローマ字				
生年月日	西暦	年 月 日	生	歳
ふりがな 現住所 〒 TEL 携帯 FAX 				
E-Mail				

職場	企業・組織名	
	部署名	
	TEL	

	年	月	学 校 名	
学歴			高等学校 卒業	
			大学	学部 学科 卒業

職歴	期		間		勤 務 先 名
	年	月	～	年 月	
			～		
			～		
			～		
			～		

- ※1 申請いただいた方の情報は、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」の運用のため以外には使用いたしません。
- ※2 この写真を使用してIDカードを作成します。
- ※3 受講資格審査日時は、2015年3月7日（土） 14時00分 からを予定しています。詳細は追ってご連絡いたします。

2015 年度(平成 27 年度)

文部科学省
「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」
選定

東京電機大学
「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」
後期募集要項

<履修証明制度対応>

2015 年度(平成 27 年度)

文部科学省「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」選定

東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」募集要項

<履修証明制度対応>

東京電機大学では、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」として、6 科目(135 時間)を開講します。このコースは、履修証明制度に対応しています。

1. 教育目的

悪意ソフト攻撃は増加の一途であり、サイバーセキュリティ(以下CySと略す)のより一層の充実、社会を安心・安全・豊かにするための喫緊の課題です。そのためには、社会活動に参加するすべての人々のCyS意識を高める必要があります。

本プログラムは、社会構成員全員のCyS意識の高揚を先導する、高度CyS専門家を養成することを目的としています。

2. 教育課程

本プログラムでは、企業における情報セキュリティを統括する最高情報セキュリティ責任者(Chief Information Security Officer: CISO)や、セキュアな情報システムの開発において主導的役割を果たす上級セキュリティエンジニアを、育成すべき高度人材像としています。そのような人材を育成するため、企業等で活躍されている専門家を招聘し、事例紹介と事例に基づくワークショップ形式の演習と、座学ワークショップを合わせて実施します。

具体的には、法律・倫理など制度的枠組みに関する理解や、攻撃者の意図や行動に関する洞察、企業におけるコンプライアンスを実現するためのガバナンスなど、幅広くかつ高度な能力を育成するために、以下の6科目(演:演習中心3講座、講:講義・ワークショップ中心3講座)を開講します。

開講する科目は、大学院修士課程レベルの内容です。

① デジタル・フォレンジック	(4DF)	(演)	
② 情報セキュリティマネジメントとガバナンス	(5MG)	(講)	
③ セキュアシステム設計・開発	(6DD)	(演)	
④ サイバーセキュリティ基盤	(1PF)	(講)	} 次年度前期 開講予定
⑤ サイバーディフェンス実践演習	(2CD)	(演)	
⑥ セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	(3IN)	(講)	

※ 科目名に記載した英数字は科目記号です。

3. 履修証明書

学校教育法に基づく履修証明制度により、プログラム修了者には、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース 履修証明書」を授与します。

【本プログラムにおける履修証明書交付要件】

開講される 6 科目(135 時間)を修得すること

【履修証明制度概要】

平成 19 年度の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。

これは、学生を対象とした学位プログラムの他に、社会人等を対象とした 120 時間以上の学習プログラム(履修証明プログラム)を提供し、修得した者に履修証明書を発行する制度です。履修証明制度には、以下の 3 点の特徴があります。

- (1) 大学の学位に比べ、より短期間に修得することが可能
- (2) 再就職やキャリアアップに役立つ社会人向けの教育プログラム
- (3) プログラム修了者には、学校教育法に基づき履修証明書を交付

※履修証明制度に関する文部科学省 Web ページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/

4. 募集人員

国際化サイバーセキュリティ学特別コース

2015 年度 後期 募集人数 **10 名程度**

5. 講座実施場所

東京電機大学 東京千住キャンパス

6. 開講期間・開講日時等

後期： 2015 年 9 月 14 日(月)～2016 年 1 月 27 日(水)

時間割は以下の通り。

科目名	配当期	曜日	時限
デジタル・フォレンジック(4DF)	後期	金	6
情報セキュリティマネジメントとガバナンス(5MG)	後期	火	6
セキュアシステム設計・開発 (6DD)	後期	土	1,2,3

※ 各科目のシラバスについては Web ページを参照

<https://cysec.dendai.ac.jp/lecture/>

受講にはノートPCが必要となります。推奨するスペック等については、Web ページでご確認ください。

7. 受講資格

本プログラムは、CISO、上級セキュリティエンジニア等を目指す、基本的な情報セキュリティの知識を有する者を対象に開講します。

次の各号の一つに該当する者(大学院修士課程入学レベル)

- ① 大学を卒業した者、及び本プログラム受講時までに卒業見込みの者
- ② 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者、及び本プログラム受講時までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、および本プログラム受講時までに修了見込みの者
- ④ 大学の 3 年次に在学し、当該大学(学部)で定める早期卒業基準を満たす者
- ⑤ 大学の 3 年次に在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本大学院未来科学研究科委員会が、優れた成績で所定の単位を修得したものと認めた者
- ⑥ その他本大学院未来科学研究科委員会が、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

開講される各科目を履修する際の前提条件は次の通りです。

(4DF) デジタル・フォレンジック

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

(5MG) 情報セキュリティマネジメントとガバナンス

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 3IN セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法の先修または同時履修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

(6DD) セキュアシステム設計・開発

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 基本的なプログラミング能力、基礎的なHTML/DBの知識を前提とする
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

次年度前期開講予定

(1PF) サイバーセキュリティ基盤

- ネットワーク、OS、セキュリティ関連技術に関する学部卒業レベルの知識を有すること。

(2CD) サイバーディフェンス実践演習

- 分散処理、コンピュータネットワーク、TCP/IP およびセキュリティ関連技術に関する学部卒業レベルの知識を有すること。
- UNIX 系OS の操作に習熟していること。
- プログラミング経験を有すること。
- アセンブリ知識を有していること(x86)

(3IN) セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 5MG 情報セキュリティマネジメントとガバナンスの先修または同時履修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

8. 事前審査について

出願に先立ち事前審査(エントリー)が必要となります。事前審査(エントリー)は、以下のWEB ページにおいて受け付けています。事前審査(エントリー)の受付期間は次の通りです。

なお、事前審査(エントリー)には費用は、かかりません。

WEB ページ

<https://cysec.dendai.ac.jp/admission/>

【受付期間】 2015 年 7 月 3 日(金) 12:00 ～ 2015 年 7 月 8 日(水) 17:00

事前審査結果は、2015 年 7 月 13 日(月)に、電子メールにてご連絡します。

9. 出願手続き及び期間

事前審査に合格された方は、次の要領で出願することが可能です。

出願書類は、次の WEB ページからダウンロードできます。

WEB ページ

<https://cysec.dendai.ac.jp/admission/>

【受付期間】 2015 年 7 月 14 日(火) ～ 2015 年 7 月 30 日(木) 必着

【手続書類】

- ① 東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」願書
写真 1 枚(脱帽上半身、背景なし、最近 3 ヶ月以内撮影、願書の所定欄に貼付してください。)
- ② 最終出身学校の卒業証明書もしくは卒業見込証明書
- ③ 最終出身学校の成績証明書

※ 上記の手続き書類の他に、受講資格審査料の振り込みが必要となります。詳細については、「10. 受講資格審査と審査料について」を参照してください。

【注意事項】

- 出願は、郵送での受付となります。**持参による提出はできません。**
- 出願者は、出願書類一式(上記①～③の書類)を、角形第 2 号封筒(240×332mm)に入れ、簡易書留・速達で郵送してください。(持参による提出は不可)
- 郵送の際は、封筒の表面に**出願書類在中**と朱記してください。また封筒の裏面に出席者の住所、氏名を記載して下さい。
- 郵送された願書等は返送いたしません。

出願に必要な、【手続書類】①②③を、次の送付先に郵送してください。

【手続き書類の送付先】

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番
東京電機大学 1 号館 14 階
国際化サイバーセキュリティ学特別コース事務局 行

10. 受講資格審査と審査料について

面接による受講資格審査を行います。受講資格審査には「受講資格審査料」がかかりますので次の通り振込をお願いします。

【受講資格審査日時】： 2015 年 8 月 3 日(月) 18 時 00 分～

※出願順に実施します

【受講資格審査場所】： 東京千住キャンパス

〒120-8551

東京都足立区千住旭町 5 番

北千住駅東口(電大口)から徒歩 1 分

〔 JR 常磐線・東京メトロ(日比谷線・千代田線)・
東武伊勢崎線・つくばエクスプレス 〕

※ 場所等詳細については 7 月 31 日(金)までに電子メールでご連絡いたします。

【受講資格審査料振込期間】

： 2015 年 7 月 14 日(火) ～ 2015 年 7 月 30 日(木)

※ 8 月 3 日の午前中に入金が確認できるよう振込をお願いします。

【受講資格審査料振込先】

銀行名:	三菱東京UFJ銀行(0005)
支店名:	神田支店(331)
種別:	普通
口座番号:	1186980
名義:	学校法人 東京電機大学 受講料口 理事長 加藤 康太郎
振込金額	10,000 円 (受講資格審査料)

※ 振込人名義の頭に 3000 と入れてください。

※ 振込手数料は振り込みされる方のご負担となります。

11. 受講資格審査結果通知

受講資格審査結果は以下の通知日に電子メールにて通知いたします。

【通知日】： 2015 年 8 月 4 日(火) 予定

※ 8 月 4 日(火)に電子メールによる合否通知が届かない場合は、以下の Web ページの問い合わせフォームでお問い合わせください。

Web ページ: <https://cysec.dendai.ac.jp/contact/>

※ お問い合わせ内容の 1 行目に「CyS 合否通知不着」と記載してください。2 行目以降に、氏名・電話番号・受験番号を記入してください。

12. 受講手続き等

受講資格審査合格者へは、合格通知とともに次の書類を送付いたします。所定の期間内に、受講費等の振込を含めた手続きを行ってください。詳細については、受講資格審査結果通知時に、改めてお知らせいたします。

【必要となる書類】

- ① 「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」履修申請書
- ② 受講費等の振込用紙

●受講手続き時に必要となる費用(受講費・施設利用費・教材費)

【受講費】

1 科目 16,000 円 2 科目 32,000 円
 3 科目 48,000 円 (3 科目で 48,000 円)
 (本来は 32,000 円/科目 平成 27 年度は半額)

※ 子育て世代女性の受講支援のため、一定の要件を満たした場合、上記とは別の受講費を設定しています。詳しくは巻末に記載のお問い合わせフォームにてご連絡ください。

【施設利用費】

10,000 円(半期)

(ID カード作成費、PC 等設備利用費、図書館利用費等)

【電子教材費】

実費

(\$175~\$220 \$1 を 120 円で計算すると 21,000 円~26,400 円)

※ 電子教材費は、受講人数と為替レートにより変動しますので、後日改めてご連絡します。

※ この電子教材費以外に教科書等の購入費がかかる場合があります。

※ 受講手続きには健康診断書(指定項目(身長、体重、胸部 X 線所見、問診)の入ったもの)が必要になります。(職場の健康診断の写しでも可能。ただし過去 1 年以内のものに限る。)

※ 一度振り込まれた受講費等はいかなる理由があっても返金致しかねます。振込手数料は振り込みされる方のご負担となります。

【手続締切日】： 2015 年 9 月 4 日(金) 必着 (予定)

【お問い合わせ先】

お問い合わせは Web のフォームからお願いします。

お問合せフォーム <https://cysec.dendai.ac.jp/contact/>